

## 第2期鳥取市学校教育情報化推進計画（素案）に係る市民政策コメントの意見及び意見に対する本市の考え方

- 1 募集期間 令和7年12月6日（金）～令和7年12月26日（金）
- 2 募集結果 19件（13名）

### ○「第3章 本市学校教育の情報化の方針」について

#### ・「柱1 子どもたちの学びを広げ、確かな情報活用能力を育む」について

No.	意見の要旨	意見に対する市の考え方
1	今後はデジタルシティズンシップ教育に力点を置いて取り組むのは大事だと思う。ICTが日常化しており、児童生徒のメディアリテラシーを育成し、適切にそして安全にインターネットやICT危機を利用していけるように、デジタルシティズンシップ教育に軸を置いて取り組んでいただきたい。	情報モラルの意識を醸成することは、情報活用能力育成の基盤であると考えます。デジタルシティズンシップ教育を本計画の核として位置づけ、継続した取組となるように周知を図ってまいります。
2	役立つ情報の収集や、地域の課題に気づき、問題をまとめたり整理したものを活用する中で問題を解決していく力をつけておくことが必要。そのために、発達段階を踏まえながら、力を合わせていく経験を積むことも大切であり、デジタルシティズンシップのような考え方により、なんとか情報モラルやメディアリテラシーの力をつけてほしい。	
3	子どもたちがやってしまう情報機器に関する失敗や問題について、失敗をしたからペナルティを与えるとか、機器を取り上げるなどという愚かなことをやっていても、失敗した子供は成長しません。そのようなことにならないように、現場の先生方がしっかりとした考えも持ち、子供に使わせながら、そして失敗もさせながら上手に活用できる人間を育てていけることができるよう行政でバックアップしていっていただくとともに、保護者や地域を始めとしてしっかり啓蒙していっていただきたい。	
4	子どもたちが「未来を切り拓く力」を身につけるためには、鳥取市が推し進めている学校教育における情報化は必要不可欠だと思います。もちろん情報化以外にも大切なことはたくさんあるとは思いますが、「これから」を考えると情報モラル等をしっかりと身につけた上で、実践力を発揮できる環境を整えていくことは大切だと思います。	
5	iPadを持ち帰っているけれど、家での使い方として学習以外に使っていることが多いのではないかと思っている。だからこそデジタルシティズンシップ教育を進めていき、善き使い手を育成していくことが重要だと思った。その点が記載してあり、とても良いと思う。	
6	親として、ダメと言うのではなく、自律につながるタブレットの付き合い方が大切だと考えさせられました。学校ごとに、差があるのは親としても心配です。また、先生もいろんな子どもがいるのに大変だと思いますが、無理なくすすめてほしいです。	

No.	意見の要旨	意見に対する市の考え方
7	リテラシーの教育は、外部講師などを活用して一定のレベルの力がどの学校でもつくようになるとよい。	本市では、情報リテラシー、情報モラルに関わるデジタルシティズンシップ教育の講師派遣を行っています。学校に事業を周知し、より多くの学校で実施していくよう努めます。
8	子どもたちの将来を考え、情報モラルやルール、情報の活用の仕方を学べるのは国語や数学、英語などを学ぶのと同じくらい重要なことであるし、情報の活用次第で、いろいろな考え方や世界や視野が広がる楽しさを子どもたちに感じてもらえたうと思うので、積極的にその仕組みづくりを広げていってほしい。ただ、仕組みづくりだけで終わるのではなく、検証して軌道修正を図ることも重要であると思うので、良い構想を実現・継続させていくためにも、思いや考えをしっかりと理解して、検証および発展させていっていただきたい。	情報活用能力の育成は、国語や数学等と同様に極めて重要であり、技術を使いこなすことで世界を広げる楽しさを子どもたちに実感してほしいと考えております。本計画の指標とともに、鳥取市GIGAスクール推進委員会において情報モラルが適切に身についているかや情報活用能力の育成状況の検証を行い、必要に応じて取組の見直しを行っていきます。
9	現代社会において、子供達にとってもデジタル環境は必須と言える。デジタルシティズンシップ教育を推進する事は重要だと考える。したがって、今回の推進計画はその充実を中心に据えている点で有効だと思う。ただし、具体的にどのような取り組みをするのかが明確ではない。具体例を挙げて、更に市民に分かりやすい内容を提示し、実践される事を望む。	具体的な取組については、鳥取市教育委員会ポータルサイトに鳥取市GIGAスクール構想に関するページを常設し、その中に情報モラルを含むデジタルシティズンシップ教育に関する資料を掲載することで、学校、保護者、地域に周知を図ってまいります。
10	どれくらいの教員が、この計画を見るのか。せっかく作った計画でも見てもらえないから効果がないかもしれない。ダイジェスト版を作つて要点を絞つてわかりやすいものを作つて、みんなが計画の中身を理解できるようになるといいと思う。	
11	不登校や発達支援の子ども達が平等に学びを深めていく事はとても大切で考えて行かなければいけないと思いますが、その子ども達が増えない為に、まず大人である私達ができるることは何か。そして、これから時代、情報を自分で模索して、選んで生き抜いて行く必要が今の時代を生きる子どもには大切となってくると思うので、私達が子ども達に残してあげられる事はなんなのか。それを考え、伝えていく事の方が大切なのはないのかなと思いました。本当に1年生の段階からiPadが必要なものかが、素人目線で疑問点でした。	発達段階に応じたタブレット端末などのICT機器の利用については、学校でも家庭でも啓発していくことが大切だと考えます。端末の使用時間や使用時の姿勢、視力への影響等、健康面に配慮した指導ができるよう、学校でのICT活用をより具体的に示した「鳥取市GIGAスクール構想について」内で周知していきます。
12	1年生や2年生のうちは、タブレットよりも鉛筆で字を書いたり、体を動かしたりして、体験活動をたくさんしてほしい。タブレットばかり使ってほしくないですが、これも時代なので仕方ないのか。	
13	タブレットは便利であり、スキルアップが必要になってくるが、目の疲れや体力の低下が心配になる。	

・「柱3 教育の情報基盤の構築」について

No.	意見の要旨	意見に対する市の考え方
14	ICT機器を活用し、校内で一斉に学習をするためには、校内通信ネットワーク整備は必須である。	学校の通信環境について、すべての市立学校で国の基準を満たしています。引き続き、必要な通信環境の確保に努めてまいります。
15	児童生徒の家庭環境整備支援が必要と考える。	家庭でのWi-Fi環境整備については、Wi-Fiによるインターネット接続環境整備助成や通信費補助等により、未整備の家庭に支援を行っているところです。今後も継続して支援を行い、できる限り多くの家庭で環境が整備されるよう、働きかけてまいります。
16	教職員の指導力向上に向けた研修を実施するための環境整備が必要と考える。	教職員の指導力・活用力向上のため、より一層教職員研修の充実を図って参ります。特に、本計画の核となるデジタルシティズンシップ教育については、情報担当教員の研修に必ず位置づけるとともに、教職員のニーズに合わせた内容で実施していきます。

○環境整備について

No.	意見の要旨	意見に対する市の考え方
17	健全に子供たちのを育てることは将来の希望となる。大いに予算をつけ、しっかりととした教育体制を作つてほしい。	引き続き、必要な予算を確保するよう努めてまいります。
18	GIGAスクールを進めていくうえで、学校現場の方々の仕事量が増えていると聞きます。新しい能力を育てようとしているのですから、それを無理なく進められるような人的な措置や財政的な措置は必ず必要になるはずですので、行政としてしっかりと財源を確保して、現場の先生方が疲弊しないように進めていっていただきたい。	
19	今のタブレットはいつまで使うのでしょうか？キーボードが壊れているので、早く新しくなるといい。	現在使用している第1期端末のキーボードカバーについては、経年劣化等によりキーボード入力に不具合が生じております。申し訳ございません。この端末は、令和8年2月で貸与期間が終了し、令和8年3月以降、順次第2期端末の貸与をすすめることとしています。第2期端末では、より耐久性の高いキーボードカバーを採用しております。第2期端末の詳細については、学校から端末を配布する前に、教育委員会から一括して各家庭にお知らせする予定です。